



千八百七十九年十月四日刊行横濱「シマヅ」新聞抄譯  
 紙幣并ニ圓銀ノ論

大藏省  
 翻譯課

4244



414  
A3504



大正十一年四月  
隈侯爵邸藏

鬼頭峰二郎 譯

日七十九年十月四日刊行横濱リヤツパンガゼツト新聞

譯

紙幣と日銀の論

余輩記者ハ此頃太政官布達ヲ以テ日本国銀ヲ洋銀ト並價ニ通  
用スルトニ一定セシメ付テ評論下セシ日ニ臨ミ其並價通用ノ  
影響タル当日本国ノ通商貿易上ニ波及スルハ善悪ニ拘ハラヌ  
一々其後数日間事情如何ニ由ルヲ論シ且ツ其並價通用ノ  
影響ト外國為換トハ両ツナカシ是レ政府ノ自在ニ出入スル日  
銀ノ多寡増減如何ニ由リテ制定セラルヘキヲ併セテ論セリ  
右ノ並價通用ノ布達発行實施以來今也爰ニ十四日間ヲ經過シ  
タレハ最早今日ニ至リテハ凌ニ架空ノ論ヲナスニアラスレテ  
實際ノ経歴ニ依リテ以テ確論明説ヲ述フルハ易キ而已夫レ然

リ然ラハ今之レヲ論スルニ当リテハ紙幣ノ一主旨ニ論及スル  
ノ外他ニ達ナレ請フ其発行其償還其高低其製造トニ付逐一之  
レヲ論セン

第一 紙幣発行ノ事

先年大蔵省ノ記録昏類不慮ノ火災ニ罹リテ焼失シタルカ故ニ  
紙幣発行額ヲ精密ニ明知スルニ由ナレト云フサレ氏余輩記者  
ハ是レ迄発行ニナリタル歳入出豫算昏中紙幣発行額ノ部内ニ  
就テ其発行額ノ略載セルモノヲ知ルヲ得タリ  
然ルニ輿論ノ傾向スル所ニテ政府ヨリ紙幣ヲ濫發スルヲナキ  
ヲ發言スルモ之レヲ信セサルヲ爰ニ久ク今ヤ現ニ國內ニ流布  
スル紙幣ノ高ハ實ニ大蔵卿閣下ヲモ戰慄セシムルニ足ル程ノ  
巨額ナルヲ主張シテ止マサルヲ如何セン余輩者ノ如キ固  
リ大蔵卿ニ對シ不敬侮慢ノ言ヲ發スルヲセス必ラス深ク謹ム

所アルヲ欲スト至氏然レ氏亦苟モ人ノ為メニ論ヲ曲クルヲセ  
ス只公明誠實ノ論ヲ而已述フルヲ希フモノナリ  
大蔵卿ハ其紙幣相場常ニ一定スルヲナク終始動搖スルアルカ  
為メニ是レ迄數年間凡百ノ通商貿易ニ最大有害ノ影響ヲ波及  
セシヲヲ熟知シ居リナカラ後令ニ万民カ紙幣發行ノ全額ヲ世  
ニ公告アラントヲ願フトモ又此上苟モ増發ノ舉ニ出ルナカラ  
シトヲ許フルトモ猶亦所謂国立銀行紙幣ナルモノヲ限ルナク  
發行スルヲ制止アラントヲ哀訴スルトモ其辺ハ毫モ顧慮スル  
所ナキノミナラス猶且ツ更ニ一層確實ノ紙幣ヲ發行シテ以テ  
現行ノ紙幣ニ代用シ増發ボノ弊ヲ防カントスルオ凡百ノ法策  
ニ抗抵シテ以テ猶ホ依然迷法誤策ニ由リテ紙幣ヲ制禦シ得ル  
トト自信セラルヤ昭々タリ夫レ其策ヤ迷フノ極ナレハ後令  
ニ其ボノ迷法誤策ヲ施スモ人民ハ満足セスレテ却テ大ニ激怒

スル所ナルハキナリ  
抑モ一般人民ノ信用スル所ニテハ紙幣ノ発行高ハ豫算昏表上  
ノ分ヨリモ遙ニ巨額ニ居ルモノトストモ決シテ証言ニア  
ラス又其発行額ハ陸続増加シ且ツ其償還方ニ至リテハ未タ何  
ゾ方法ノ設ケモナシト云フモ是亦決シテ証言ニアラス  
凡ソ此ボノ事實ニ付テハ大蔵卿トシテ固ヨリ措テ顧ミサルボ  
ノアアルヘカラス然ルニ大蔵卿閣下ハ其職トシテ財政上ノ事  
ニ付テ彼是辨論スヘキアアルモ黙シテ云ハサルハ實ニ怪ムハ  
キナリ況ンヤ大蔵卿ハ其保護金ヲ付與セル外國ノ一新聞紙  
ニ依リテ其財政ノ正確堅固ナルヲ間接ニ論セシメ且又其信憑  
ヲ回復センカ為メ迄頃外商ヲ大蔵省ニ招テ以テ其準備正金ヲ  
點檢セシムルボ疑ハシキ舉アルニ於テオヤ

第二 紙幣償還ノ事

前年度ノ歳入出豫算昏ニ依レハ實ニ大蔵卿閣下ハ七百四拾九  
万九千貳百拾七圓ノ紙幣ヲ償還セシメテ明言セリ然ルニ其豫  
算昏ニ附添セシ例言ボハ錯雜ヲ極メ不分明ノ處多フシテ殆ト  
鮮シ難キノ嘆アリ  
今余輩記者ノ見ル所ニ依レハ紙幣償還ノ方法ハ只左ノ二途ニ  
由ルノ外他ニ策ナシ然ルニ其二途中何レヲモ実行セラレサル  
モノ、如シ  
第一 正金ヲ以テ紙幣ヲ買上ケ其紙幣ヲ悉ク消滅ニ付スルコ  
ト  
第二 豫算昏中表上ノ剩額(右ハ多分紙幣ナルベシト仮想ス)  
ヲ流通高ヨリ引去リテ以テ其引去タル紙幣ヲ何レニモ送属セ  
サル獨立適任ノ検査官立合ノ上ニテ悉ク消滅ニ付スルコト  
日本ノ国債(紙幣ヲモ以テ)ニ二十八ヶ年間ニ償還シ了ルノコトハ

實ニ先般大蔵卿ノ公布ニシテ内国新聞ノ善諾スル所  
ニ係ル然レモ今尚ホ人民ハ誰レ一人ナリトモ七百五十万ノ紙  
幣ヲ失張リ紙幣ヲ以テ償還シ得ルヲ決シテ信シ能ハス亦信  
セサルヘシ畢竟此ホハ只大蔵卿固債償還ノ帳簿上ニ設ケシ徒  
法ニ過キサル而已

サレハ紙幣償還ノ成否ハ一々日本國利源ノ増減如何ニ是レ由  
ルモノナリトス其故何トナレハ現ニ大蔵省ニ於テハ目下流通  
紙幣ノ内其四分以上ヲ償還スルニ足ル丈ケノ準備正金ヲ一金  
タモ所有セサレハナリ

### 第三 紙幣高低ノ事

客月上旬頃ニ於テハ紙幣ノ相場ヨロシキ方ナリシ蓋シ當時  
銀並價通用ノ談判アル由ヲ世人ノ瞭知スル所トナリシニ因  
今其相場ノ變動ヲ述ヘンニ客月一日ニ至リテハ割引ナリ

シニ漸々小々ツ、減レテ今十三日ノ朝ニ至リテハ其割引九分  
ニ下レリ然ルニ同日初メテ大政大臣ヨリ並價通用ノ布達公布  
セラル、所トナリタリ爰ニ於テカ實業ヲ營ム商賈、是迄現ニ  
欠乏不足ヲ告ケシ需用ヲ医治スルニ足ル丈ケノ充分ナル田銀  
必ス市場ニ出テ来ルヘキヲ深ク信シテ待受ケタリ然ルニ具待  
受ケトハ大ニ相違シタルニ付斯ノ如キ豫見ヲ懷キシ者ノ失望  
ハ何許リナリシヤ又右ノ布達公布以來二週日間ニ相場師輩其  
感カヲ逞フシ為メニ數十名ノ人々一朝ニ倒産破滅セシハ紙幣  
ノ流通額實ニ巨額ニシテ之ヲ交換ノ媒介トナスニ用ナキ程  
ナレハ正債ノ打歩漸次増加シテ己ニ去月二十四日ニハ洋銀モ  
田銀モ二割五歩ノ打歩ヲ占ムルニ至リタル一事實ヲ擧示セハ  
他ニ一言ヲモ爰ニ弁明スルヲ俟タスレテ明ラカナリ  
凡ソ交換ノ要具タルモノ(猶ホ詳約セハ品物ト交換シ得ヘキ物)

僅カ十一日間ニ志割六分ノ高低ヲ生スルカ如キノ場合ニ立チ  
至リテハ實ニ一大事ナレハ豫メ之レヲ医治ノ方策ヲ考按セス  
シハアルヘカラス  
今ヤ回銀ハ洋銀ト並價ニ通用スルカ故ニ大蔵卿ハ曾テ熱望セ  
シ機會ヲ得ルモノト云フヘシ機會トハ他ニアラスワチソシ氏  
曾テ紙幣變動ノ下ニ付テ論セシニ當リ全氏ノ云ク想フニ日本  
政府ハ其變動ニ付テ實ニ深ク痛心スル所アルヘシ政府ニハ當  
時巨額ナル回銀ノ準備アリテ此巨額ノ回銀ヲ只紙幣相場ノ下  
落ヲ医治スルノ用途ニ供センコト切望スル而已其回銀ノ如キ  
ハ今現ニ用途ニ供セス空シク政府ノ手許ニ遊ヒ居ルモノナ  
リ  
想フニ最早今日ヨリモ一層切迫ノ事情ヲ來スコトアラサルヘシ  
若シ今ニシテ政府ハ其所持ノ回銀ヲ利月スルノ機ヲ失ハガリ

シナラハ紙幣ノ相場ハ志割以上ノ割引ニハ決シテ至ラガルヘ  
シト論セシ時大蔵卿カコチソシ氏ニ向テ切ニ望ミシ機會ノ示  
フナリ  
以上ノ言ハコチソシ氏固ヨリ其筋ノ委託ヲ受ケテ斯クハ論弁  
セシモノナレハ以上ノ如ク日本財政ノ状況ヲ叙述スルニ於テ  
モ毫モ固信ヲ損傷スルナキト確信セリト  
抑モ今般回銀ヲ洋銀ト並價通用ニスル事ノ主張者ハコチソシ  
氏即チ其入ナリカレテ全氏ハ猶ホ其筋ノ命ヲ受ケテ開陳セシ  
コトアリ甚言ニ曰ク若シ此並價通用ノ所置果シテ效ヲ奏スルニ  
至テハ政府ハ能ク紙幣相場ノ變動ヲ製禦シ得テ以テ其下落ヲ  
捺行総額ノ十分ノ一ニ止メ得ヘシト  
斯ル高言ヲ曾テ吐露シ置キタルコトナレハコチソシ氏ニ命シテ  
此等ノ高言ヲ吐カレメタル其筋ノ人ノ預想先見ハ大ニ結果ト

大蔵省

相違し定メテ不愉快ヲナルハ其結果、如何ト云ハ、今ヤ  
現ニ四銀ハ流通スルアルヲ以テ紙幣空價ノ下落實ニ甚クシ  
今ヤ凡ソ此等ノ事ヲヘカラスルノ事、其目前ニ現出スルア  
レハ蓋シ大蔵卿ハ不換紙幣過度発行ノ真義ヲ充分ニ解得スル  
所アルヘシ又大蔵省準備金六百萬圓ヲ悉ク費耗シ尽クサ、ル  
前ニ今日ノ如ク国信ノ衰フルモノヲ挽回セント欲スルモ到底  
徒勞ニ属スヘキヲ悟ル所アラン

第四 紙幣製造ノ事

紙幣製造ノ巷風街説其他日本諸新聞紙上ニ種々ノ載録ヲナス  
アリテ實造紙幣發行ノ説ヲシテ信偽ヲ分チ難カラシムルニ至  
レリ  
夫レ然リ然リト雖モ實造紙幣ト正紙幣トハ其何レヲ區別シ難  
キト云フニ至リテハ諸説皆然リ又其紙幣ハ失張り政府ノ發行

セシ正紙幣ノ同版ヨリ摺立テタルモノナルニ付所謂實造紙幣  
ナルモノハ其製造ハ實造ニアラサレトモ只其通用實造ニ出ル  
而已ト云フニ至リテハ是レ亦衆評一トシテ然ラガルハナシ  
其紙幣ノ信偽ヲ制定スルニ付テハ化学作用視学試験ナ九百ノ  
法ニ因リテ其信偽ヲ判別セシメテ申出セシモノモアリタリ反  
令ニ此等ノ試験法等ハ政府ニ取リ貴重ノ策ナルハキニモセヨ  
免ニ爾後令ニ其法ト雖モ能ク其目的ヲ達スルコト勿ルヘ  
シ  
サレハ今般ノ損失ハ政府ノ損失トナラスンハアルベカラス然  
ルヲ若シ政府苟モ紙幣ヲ棄棄スルコトアルハ其紙幣ハ實造物  
タルノ確証アルニモセヨナキニモセヨ之例ニ世上ノ紙幣細大  
トナク悉ク廢紙トナルヘシ  
試ニ今若シニ同紙幣ヲ棄棄スルコトアラハ自他ノ各種紙幣ハ抑

モ何等ノ確証アリテカ右同様廢棄ノ憂患ニ罹ラサルノ証アル  
乎斯ル輕挙ハ蓋シ危候ノ極ナルハ論ヲ俟タス苟モ一度斯ル  
アルハ人心動搖驚愕シ疑惑ヲ生スル真逆マカナルト怡モ水  
ノ湧クカ如シ爰ニ於テカ夫ノ將來久シキヲ俟テ金貨ト交換ス  
一キ約ノ紙幣ヲ俄然大蔵省ニ持来リテ以テ切ニ其金貨引換ヲ  
迫ルニ至ラン  
斯ノ如キノ事情ナルヲ以テ先ツ政府ニ於テハ是非トモ紙幣真  
偽ノ試験ヲ止メスンハアルハカラス若シ政府ニ於テ苟モ過度  
發行ノ紙幣ニ償還シ得テ以テ其回信ヲ久シキニ保持セント  
所望スルアラハ實造者果シテ有罪ノ者ト一決スルマテハ試験  
ボノ事ヲ公然人民ニ示スナク幾分カ之ヲ隱秘セスンハアル  
ベカラス  
抑モ紙幣實造ノ信偽ハ如何アラシニモセヨ鬼ニ角此實造ノ一

擧ニ関スル諸流説ヨリ由テ来ル所ノモノハ日本人底ハ盲目ナ  
リ日本ハ面目ヲ失スルナリ日本政府ノ名譽ハ痛ク汚穢スル所  
トナリシトノ惡評ヲ生スル而已  
大蔵卿ハ其紙幣ヲ發行セシ高ハ僅ニ豫算表中ニ記載スル所ニ  
止マルトヲ再三確言固守セシナレトモ魚々ヨリ世人ノ疑團ヲ解  
クニ至ラザリシニ其疑團ハ今大蔵卿閣下カ自許スル所ニ依リ  
テ其相違ナキヲ証スルニ足レリ  
凡ソ實造紙幣ノ世上ニ出ルハ毫モ怪ムニ足ラス固ヨリ世ニ聞  
タアリ勝子ノトナリサレハ今大蔵卿ハ如何トモ遁辭ヲ説クハ  
キノ道ナキ時ニ当リ後ニ言ヲ發シテ以テ後令ニ大蔵卿ハ増發  
ヲ許ルセシニアラス且ツ其事ニ付テハ何等ノ事ヲモ知ラザリ  
シトハ虫鼠目下ノ紙幣通用高ハ最前大蔵卿カ其豫算表中ニ表  
上セシ高ヨリモ超越スル旨ヲ世ニ告示スルトアルトモ毫モ大

大蔵省



啟ノ言誤ニナラス

日本ニ於テハ何事ニ限ラズ極々綿密ニ查明スヘカラサルモノ  
トス又諸布達諸布告ボノ如ク凡ソ官行ニリ民間ニ告示スルモ  
ノニ付テハ山陵ヲモ動カスヘキノ信用誠実ヲ要用ナリトス然  
ルニ今日内閣ヨリ出ル百般ノ諸布告類ハ勿論又政府ノ内命ヲ  
奉シテ高法會議所等ヨリ發スルノ論説亦凡ソ此等ハ悉皆昨日  
ノ發令出版トハ全ク相反シテ實ニ驚クヘキ程ナリ實ニ百事  
皆朝令暮改歟ノ如クナルヲ以テ財政ノ如キハ僅ニ其皮相ヲ窺  
ハハ或ハ制度至善至美回ヲ受スルノ情ニ出ルカ如シト至氏若  
シ之レヲ綿密ニ視察スルカ若クハ政府ノ保護金ヲ受ケサル獨  
立ノ新聞紙ヲレテ論議セシメナハ其會計帳簿ハ偽算ニ出ルモ  
ノ固ヨリ少ナラザルヘク又不正ニ増減ボヲナセシモノ、發  
露スルヲ鮮ナカラザルベシ

苟モ一回ノ民タル者ニシテ自在ニ前後ノ考ナキ冒險者ノ餌食  
トナル嗚呼如何計ナル乎某紙幣局ノ如キ紙幣ヲ正当ニ算計印  
行セサル所ニ於テハ位ノ高下官ノ貴賤ヲ問ハス凡ソ官負タル  
者ハ皆何時ニテモ其要求ノアリシ時數千ノ紙幣ヲ引出スル容  
易ナル嗚呼如何計リナル乎斯ノ如ク引出スル僅々數千回ニテ  
モ一年ニ積シハ實ニ數百萬圓ノ巨額ニ及ホスモノトス  
若シ紙幣局ノ長官タル者其職務ヲ怠ルアラハ反令ニ斯ノ如ク  
不正ノ舉動ヲ働ク者アルモ之レヲ探知スルノ難キ嗚呼如何許  
ナル乎況ンヤ公務上ニ於テ彼是相制ノ法未タ之ヲキモノニ於  
テチヤ  
凡ソ何人ニ限ラズ一ケ年六千圓ノ月薪ヲ受取ル身分ニテアリ  
ナカラ一ケ月毎ニ六千圓ヲ遣拂フ者ハ秘密ニ一二箱ノ紙幣ヲ  
發行シテ以テ其足ラサル分ヲ補フハ人情ノ然ラシムル所ナラ

大藏省

トヤ

余輩ハ以上ノ如ク開陳セリト雖此ノ一ノ毫モ日本ノ現状ニ關係アルニ非ラスレテ一モ日本ニ通用スルモノナシ何トナレハ日本ニ於テハ現ニ内閣ノ諸大臣ガ何レモ嚴師ニシテ俸給ハヨケレ氏費ス所ハ多カテス且ツ家事節儉ナリハナリ凡ソ日本ノ事ハ百事皆秘密ニシテ其内狀得テ知ルベカラス其紙幣ノ発行也其償却ノ法也其出納ノ現状也其金銀貨ノ貯蓄也其千八百七十六年并ニ千八百七十九年兩年ノ準備金也其レニ當スル説明也其他曾テ鑄造セシ高ヨリモ巨額ナル圓銀準備ノ一也凡ソ此ボハ其如何ヲ知ルヘカラス夫レ然リ然リト雖氏前文ニモ已ニ開陳セシカ如ク日本ニ於テハ凡ソ何事ニテモ極々綿密ニ查明スヘカニガルモノトヌサレハ余輩ハ無松初ヨリ倒滅ノ催レアル不安ナル財政ニ進

歩如何ヲ視併セテ亦通商貿易上ニ有害ノ影響ヲ来ス一キ條約改正ノ結局如何ヲ察スルノ外他一途ナレサレハ余輩ハ今ヨリ謹テ我主宰ノ法令ヲ遵守レテ以テ親シク我日々ノ生計上ニ關係スル百事ニ付テ不敬ノ駁評ヲ下ス下ヲ警ラク見合ヌハシ  
 實ニ俚言ニシテ其レヲ持ッテ信スルナラズ然ルモ汝ハ其レヲ持テト唱フル言ノ適用スルハ日本ノ一ナリ世ニ若シ日本ノ國信ヲ以テ不克分ト考フルスハ宜シク此地ニ渡航シテ以テ親シク國狀ヲ目撃シ國信ノ厚薄如何ヲ查明ス可シ

